令和７年度　自己評価結果報告書

1. 本園の教育目標

集団生活を通して、自立の精神と発育発達の向上を目的とし、創造的な能力を養い、さまざまな体験を重ねながら、心身の調和のとれた教育を目指す。

親と子のコミュニケーションを大切にし、幼児が適切な環境のもとで友達や教職員と楽しく充実した園生活を送り、「10 人 10 色の保育指導」を通して、一人ひとりの個性と自主性を伸ばす教育を目指す。

2. 本年度の重点的な目標や計画

- 一人ひとりの個性や発達に応じた教育・保育の充実
- 安全で安心できる保育環境の整備と専門機関との連携
- 自園給食を通じた食育の推進
- 保護者との連携強化と ICT 導入による園運営の効率化
- 職員間の共通理解を深め、園全体の教育・保育の質を向上させる

3. 評価項目の達成及び取り組み状況（自己評価）

評価項目	判定	具体的な取り組み内容と自己評価結果	次年度の課題・改善策
1. 教育・保育の質（10 人 10 色の指導）	A	【個性を伸ばす正課活動】 ECC 英語、美術、体操、音楽（鍵盤ハーモニカ）において、専門講師と担任が連携。担任自らも朝練を行うなど熱意を持って取り組み、子どもたちが表現する喜びや運動の楽しさを実感できる環境を整えました。 【行事を通じた成長】 発表会やサッカー大会では、日頃の成果を発揮し、一人ひとりが主役となる場を創出しました。	年少（3 歳児）クラスの音楽活動において、練習期間の確保に課題が見られました。次年度は講師との連携を早期化し、年間を通じてゆとりある計画を策定します。
2. 安全・発達支援（1 歳児・専門指導）	A	【1 歳児保育の体制構築】 姉妹園経験者の配置と、午睡・食事に特化した独自安全マニュアルの策定により、低年齢児特有の事故防止を徹底しました。 【専門機関との連携】 大阪市からの訪問指導を積極的に要請。専門員の助言を個別の指導計画に反映させ、配慮が	訪問指導で得た専門的知見を園内研修で共有し、全職員の支援技術の向上を図ります。また、小学校との情報共有をさらに深め、幼小接続を強化します。

評価項目	判定	具体的な取り組み内容と自己評価結果	次年度の課題・改善策
		必要な子どもへの適切な環境構成と支援を実践しています。	
3. 食育の推進 （自園給食の開始）	A	【温かい自園給食への移行】 今年度より自園調理を開始。出来立ての食事を提供することで食への関心が高まり、偏食の改善や食事マナーの向上につながりました。 【丁寧な食事指導】 1 歳から 3 歳それぞれの発達に合わせた食具の使い方や食事の進め方を職員間で再確認し、安心できる食事環境を整えました。	季節に応じた献立の工夫や、食材に触れる機会を作るなど、自園調理ならではの体験型食育活動をさらに展開していきます。
4. 運営・保護者連携 （行事・ICT 計画）	B	【透明性の高い行事運営】 園庭での運動会開催に向け、多角的なシミュレーションと情報発信を実施。開催方法への不安に対しても丁寧な説明に努め、最終的に大多数の肯定的な評価を得ることができました。 【業務効率化の検討】 園務の効率化と保護者利便性の向上を目指し、次年度からのシステム導入準備を進めました。	【次年度 ICT 導入】 令和 8 年度より ICT 登降園システムを本格導入します。削減された事務時間を、子どもと向き合う時間や指導準備へ充当し、保育の質をさらに高めます。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果（自己評価）

総合評価	理由
A	園全体として、教育方針に基づいた教育・保育に取り組み、専門講師との連携や行事を通じて、子ども一人ひとりの個性や成長を大切にした活動を実践することができました。 また、1 歳児保育の安全体制の整備、専門機関との連携、自園給食の開始など、安心して園生活を送るための環境づくりにも努めました。 今後も保護者との信頼関係を大切にしながら、教育・保育の質の向上と園運営の充実に努めます。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
教育・保育の充実	専門講師との連携を深め、子どもの発達に応じた無理のない活動計画を作成する。
安全・発達支援	専門機関との連携や職員研修を継続し、一人ひとりに応じた支援の充実を図る。
食育の推進	自園調理の特色を生かし、季節の食材や食に触れる体験を充実させる。
保護者連携・ICT	ICT システムの円滑な導入を進め、保護者の利便性向上と保育時間の充実につなげる。

6. 学校関係者評価

学校関係者の立場から、本園の教育・保育活動や園運営について、以下のとおり評価・意見をいただきました。

評価項目	学校関係者評価・意見
1. 教育・保育の質	英語、美術、体操、音楽など多様な活動を取り入れ、子どもたちの個性や可能性を伸ばそうとする取り組みが評価できます。行事を通して子どもたちが成長し、自信を持って活動する姿が見られることも大切な成果です。
2. 安全・発達支援	1 歳児保育の安全体制を整え、専門機関とも連携しながら、一人ひとりに応じた支援を行っている点は安心できる取り組みです。今後も安全管理と職員間の情報共有を継続していただきたいと思います。
3. 食育の推進	自園調理による温かい給食の提供は、子どもたちの食への関心や食べる楽しさにつながる取り組みとして評価できます。今後も食材に触れる機会などを増やし、食育を充実させていただきたいと思います。
4. 運営・保護者連携	行事の開催にあたり、保護者への丁寧な説明や情報発信に努めている点を評価します。また、ICT システムの導入による業務効率化が、子どもたちと向き合う時間の充実につながることを期待します。

学校関係者評価の総合意見

本園では、子ども一人ひとりの個性を大切にした教育・保育が行われており、専門的な活動や行事、自園給食など、園独自の特色ある取り組みが進められていると感じます。

また、安全面や発達支援についても、専門機関との連携を図りながら、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めていることがうかがえます。

今後も、保護者との信頼関係を大切にし、子どもたちの健やかな成長を第一に考えた園運営を継続していただきたいと思います。

※学校関係者評価の内容は、実際の評価委員の意見を確認・反映したうえで確定します。

7. 財務状況

法人の財務状況については、関係法令に基づき必要な会計処理及び監査を実施し、適正な法人運営に努めています。

財務関係書類については、法人のホームページ等を通じて公表し、運営の透明性の確保に努めます。